

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36-(14)	プライバシーや尊厳への配慮について、基本的な手順などの体制、整備ができていない。	入居者のプライバシーや尊厳がより保たれるよう勉強会を継続して開催するとともに、マニュアルの見直しを行う。	プライバシーについての勉強会を継続して行っていく。また、マニュアルをプライバシーに関わる項目ごとにより細分化し、入居者に恥じらわずに排泄や入浴を行っていただけるようにする。	3ヶ月
2	10-(6)	入居者、家族に日常の様子が理解できる様、説明と配慮が足りない。	外部評価のアンケート結果をユニット会議等で検討し、全職員が入居者の日常の様子を家族に説明できるようになることで、より信頼される施設にしていく。	アンケート結果を受けて職員間で検討した内容や外部評価の状況等を入居者、ご家族に面会時に伝えるとともにスマイル通信を通じて発信して行く。	6ヶ月
3	1-(1)	法人全体の理念であり、地域密着型施設としての理念が出来ていない。	地域密着型の事業所としての理念を作り、実践に向けて取り組んでいく。	グループホーム偕楽園としての理念をユニット会議やケア会議の場で職員全員で考え、より具体的な介護理念として事業計画書等に位置づけるとともに地域密着型施設の役割として実行していく。	6ヶ月
4	1-(3)	運営推進会議に市担当者が出席していないため、市の考えや施設の思い等が伝わりにくい。	市との連携を深めるため、市の担当者に運営推進会議に出席してもらえるよう働きかけを行う。	運営推進会議への参加について研修の場等を利用して市に働きかけ、連携を深めていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。